

<p>SSKS JAPCニュース</p>	<p>編集人 特定非営利活動法人 日本失語症協議会 〒168-0082 東京都杉並区久我山 2-10-23 園田方 Tel.03-5335-9756 Fax. 03-5335-9757 1冊 400円 ゆうちょ口座番号 00180-7-174216</p>
<p>2023年 11月発行 第65号</p>	
<p>特定非営利活動法人日本失語症協議会機関誌 『言葉の海』新聞版 協議会ホームページ URL: https://www.japc.info/</p>	
	<p>発行人 特定非営利活動法人 障害者定期刊行物協会 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 Tel03-6277-9611 ax03-6277-9555</p>

<「生命の灯ふたたび」の取り組みに寄せて>

国立国際医療研究センター国府台病院

言語聴覚士 四方田博英



私が初めて横張先生の訓練室を見学させて頂いたのは、1996年の秋でした。この日の衝撃、感動を機に大学院の言語障害研究コースに進み、言語聴覚士(以下ST)としての人生を歩み始めました。

翌年には作品集「生命の灯ふたたび1」(インテルナ出版)が出版され、各地の障害者の方やその支援者の方々、マスコミ等、広く反響がみられていました。その後、20年の時を経て本文にある「生命の灯ふたたび2」(新興医学出版社)が出版されました。

1996年当時、先生は1人で3つの病院の急性期から超慢性期まで全ての段階の患者さんを個別とグループの形で担当されており、グループは障害別に3ヶ所合わせると20個あまりに分けられているという、衝撃的な編成でした。

私が今でもその光景をはっきりと覚えているのは、入院でも外来でも言語療法室に来られる患者さん達が目を輝かせて生き生きと来室され、お仲間達とここは自分達の居場所だ！と言わんばかりの表情をされていたことです。

来室される方々の多くは言語を含む高次脳機能障害が重度で、しかも他院の訓練終了後

1～10年経過した慢性期の方々でした。重度障害の場合、積極的な訓練の対象とされなかつたり、1年以内で終了とされるのが一般的でした。

先生は、重症の方々にもこそ、長く積極的なケアが必要だと考えられていて、最重度失語症のグループに特に熱心に取り組まれていました。「訓練対象にならない」と各地の病院で告げられた方達が集まって来られ、ご家族と一緒に、賑やかで笑いの絶えない訓練時間でした。重度グループにはご家族も参加され、ここでご家族達の強い絆が生まれ、それが訓練以外の生活にも広がり、患者さんが亡くなった後までもずっと続いています。

作品展「生命の灯ふたたび」の歩みは、こうした重度障害の方達が個別訓練→グループ訓練→自主グループ(若葉の会)を通し、先生がお一人お一人の手を取って始められた基礎練習から、書や絵の作品づくりへ、お仲間と切磋琢磨しながら熱心に取り組まれ、作品の向上とともに言語機能や生活内容も改善を続けるなど、再び灯った生命の灯を明るく輝かせていかれた過程です。

私は初めて見学させて頂いて以来、週に2回、すでに参加されていた何人かの研修生のお仲間に入れて頂き、その後はSTとして、自分なりの訓練活動や友の会、作品展などの活動の一端を担わせて頂いてきました。

今、訓練対象や内容は、先生のご活動とは少し異なっていますが、常に消えかけた、または消されかけた重い障害の方達の生命の灯を再び灯し、それを少しでも明るく輝かせていきたいと願いつつ、努力を続けております。



【横張 琴子先生】



作品展「生命の灯ふたたび」38年の歩み

—重い言語障害や身体障害を負われた方々や、そのご家族の
生命の灯が再び輝くことを願って—

言語聴覚士 横張 琴子

1. はじめに

1979年(44年前)、筆者がアキレス腱断裂で搬送された千葉県内の病院で、手術直後に要請を受け、入院中から失語症者の訓練を試行し始めました。退院後、近隣病院など数施設からの要請を受けて各々週に1～2日ずつの言語訓練を開始したところ、当時は成人担当言語聴覚士(以下ST)の数も少なく、デイケア・デイサービスなどの施設も無かったためもあり、各地から訓練終了後も重い障害の残ったまま、深い失意の在宅生活を余儀なくされていた慢性期の重度高次脳機能障害の方々が次々来院され始めました。遠隔地からは、通院の他、近くへ転居して来られる方々も増え、こうした事態に対応すべく、障害のタイプと重症度を基に編成したグループを多数作り、各グループに月に1回、3時間ずつという形態の訓練を開始継続しました。

2. グループ訓練⇒東葛失語症友の会

「死にたくても体が動かず、死ぬことも出来なかった」(ご本人)

「家族も孤独、どうやって生きて行けば良いか・・・」(ご家族)

などと述懐されたように、発症後1年～数年～10年のリハビリを受けた後も重い障害を残したまま、「これ以上の回復は困難」とされ、孤立、苦悩の中で閉じこもりの日々を過ごされていた方々、しかも40～50代の働き盛りの方も多く居られました。こうした方々にもう一

度「生きて良かった」と思って頂ける生命の灯をともし、少しずつ輝きを増して行かれることを願って、グループ訓練では下記3つの目的のプログラムを中心に、訓練期限なしで継続実施しました。

- ① 言語機能の向上: <発語、文字の読み取りと自発書字、計算>を主に家庭学習用テキストとノート学習(日記、新聞切り抜き→書字その他)を定着させる。
歌唱:発声・構音、楽しみ・仲間づくりなどに効果大、ご家族も一緒に大声で合唱
- ② 家族を含めた仲間づくり:心理・社会性の向上、生活の活性化(グループ仲間での会食、外出、訪問、旅行などへ発展)
- ③ 生き甲斐づくり:書道、絵、手芸など、言語機能に関係なく取り組めるもの、上肢機能障害の状態により、軽度の場合は麻痺(+)の手を用いて訓練、使用困難レベルの場合は利き手交換訓練から書や絵へ、両手使用困難者は口唇を使用。

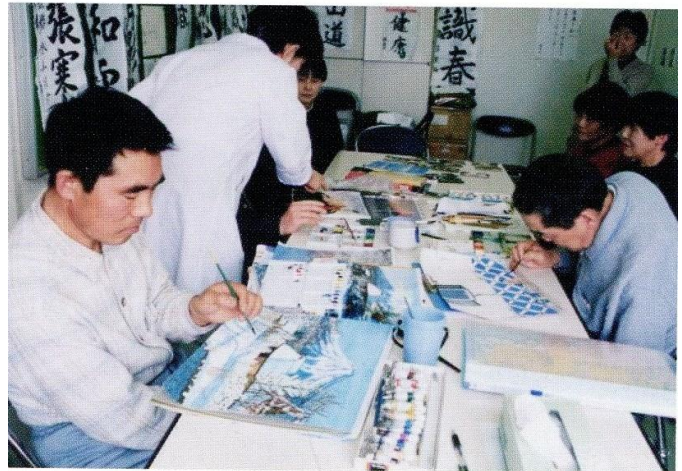
上記プログラムの継続の中で、当事者(重い失行・失認を伴った症例も少なくなかった)、ご家族ともに著明な心理・生活の活性化や、回復困難との診断を受けられていた言語を含む多機能の向上がみられて行きました。

「どうやって生きて行けるのか、絶望のどん底の日々の中で、ある日、発病から3年余りを経て松戸のグループに入れて頂き、主人の生活が一変しました。初めて笑い、歌い、「無理」と言われていた文字や計算をどんどん覚え、書道に熱中し、お仲間を訪ねたり・・・家族中に笑いや希望が甦りました」 (訓練参加ご家族の手記)

1981年、グループ訓練開始から2年後、仲間づくりを更に広げて、「東葛失語症友の会」を結成。自由参加の会としたこともあって、年々全国各地から医療関係者や多くのSTの方々も含めて参加される方が増え、40周年大会は300人余りの賑やかな会になりました。



グループ訓練: 重度運動性失語グループ
(全員ご家族同席)



グループ訓練: 重度失語症混合タイプグループ
(約半数ご家族同席)



東葛失語症友の会
昼食前の「乾杯！」(ビールまたはウーロン茶で)



東葛失語症友の会
テーブル毎の話し合い(STのリードで)

3. 自主グループ・若葉の会

慢性期障害者の長期訓練継続への医療保険の規制が強くなり、継続困難な状況になったのを機に、2004年病院でのグループ訓練を終了し(筆者も退職して)、松戸市福社会館に自主グループ「若葉の会」を開設し、グループ訓練でのプログラム(前述の①②③)を拡大して毎週6時間(コロナ後は4時間)の集いを始めました。会は、有志ご家族とご遺族数名、ST 1名によるボランティア運営で、参加は全て自由(居住地、発症後経過年数、障害のタイプなど)、参加費は1組(本人と家族)1ヶ月300円(会場費)、岩手、南房総など遠方からの参加者もあり、賑やかな集いの中で、当事者・ご家族の強い仲間づくりや生活の活性化がみられ、お仲間同士の会食や旅行にも発展していきました。



その日に出来上がった作品の紹介
(作者の紹介とSTの講評など)



リハビリタイム(ご家族・ボランティアも参加)
リハビリ体操、発話、脳トレ、合唱)

4. 作品づくりへの取り組み

多くの方の場合、上手く動かない左手や不全麻痺の右手にSTの手を重ねて、「○」「×」など基本的練習から始め、自力での繰り返し練習→単純画の模写練習→各々の好みやレベルに合った単純な手本を選んで描画へ(色の選択、塗り方、重ね方などの指導を加えながら)。画材は<色鉛筆、マジックペン、水彩、アクリル、油絵具>などから適切なものを選択し、使い方の手ほどきをしながら作品制作へ。

書道も基本練習の後、墨汁なしの空筆や水筆を用い、手を添えて筆の入れ方、押え方、撥ね方などの練習を繰り返した後、墨書に進みます。

創作活動の意義・有用性

① 言語障害の重症度に関係なく、重症者でも平等に取り組める

② 言語・身体とも重度障害者でも健常者以上の作品も作り得る

→失われた自信・自尊心・意欲の復活、生命の灯の再燃！

このため指導では妥協せず、常に「より高く」を目指した姿勢で実施

③ 訓練の努力や機能向上の経過・実績が本人にも周囲にも確認しやすい

④ 本人や家族の喜び、意欲、生活の活性化を増進

⑤ 意欲増進と右脳(言語と反対側の芸術関連脳)の賦活作用で、言語その他の諸機能の向上にも貢献

作品展開催

作品の練習～制作の意欲高揚や作者・家族の喜びの増進と、他の方々への啓蒙などを願って1985年(昭和60年)に第1回作品展「生命の灯ふたたび」を開催し、以来継続してきました。初回から毎回NHKテレビやいくつかの新聞社などマスコミでご紹介頂き、遠隔地からもご来場者や訓練参加ご希望者が増えていきました。



会場入口(松戸市文化ホール4室)



会場風景



作品展示(出品者全員に出品作2～3点と初期からの訓練経過を並べて展示)



出品者勢揃いの打ち上げ会
(出品者-故人の部を含む-は毎回約80～100名、出品作品150～250点)

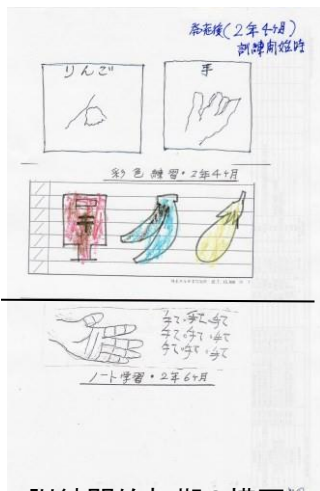
5. 作品例

症例1 発症45歳、右利き、男性、脳梗塞、右片麻痺、重度失語症

リハビリ病院で2年間の入院訓練を受けた後、「言葉、色、形の表出、計算などの回復は困難」と告げられて退院となり、その後4ヶ月間自宅に閉じこもり、自傷行為と涙の絶えない日々が続いていたとのこと。

発症後2年4ヶ月時に初来院され、同タイプのグループの中で「発声、発語、文字、計算、描画、歌」などの課題(自宅学習課題多用)に生き生きと取り組み始め、間もなく単身で電車・バス利用で来院されるようになった。

自宅では、独りで長距離散歩、家事手伝い、学習、描画など活発に実行。やがて友の会のお仲間と各地への旅行に参加・・・と生活、言語、描画など全てに驚くような向上が続いた。



上: 訓練開始初期の模写
(発症後2年4ヶ月)
色彩の認知も不可
下: 自宅学習(訓練開始2ヶ月)



作品展出品の水彩画(訓練開始後13年)

症例2 発症43歳、右利き、男性、脳内出血、右片麻痺、重度失語症(岩手県在住)

発症後7年間、地元でリハビリを続けたが、「機能回復は困難」と告げられていたとのこと。7年後、ご家族が作品集「生命の灯ふたたび1」に出会い、千葉県松戸市まで来院された。初回、ご家族に支えられ無表情に入室されたが、その後、月1回岩手県からの来院と自宅学習に熱心に取り組まれ、各機能の向上とともに、単身で吹雪の中を夜行バスで上京、来院されるなど、生活も著しく自立、活性化された。現在、若葉の会へ参加中。



上:松戸で訓練を始めた初期の色鉛筆作品(発症後7年)

右:作品集2の表紙絵(マジックペン)(発症後21年、訓練開始後14年)



生命の灯ふたたび2

脳卒中後の重い障害を越えて創った作品集

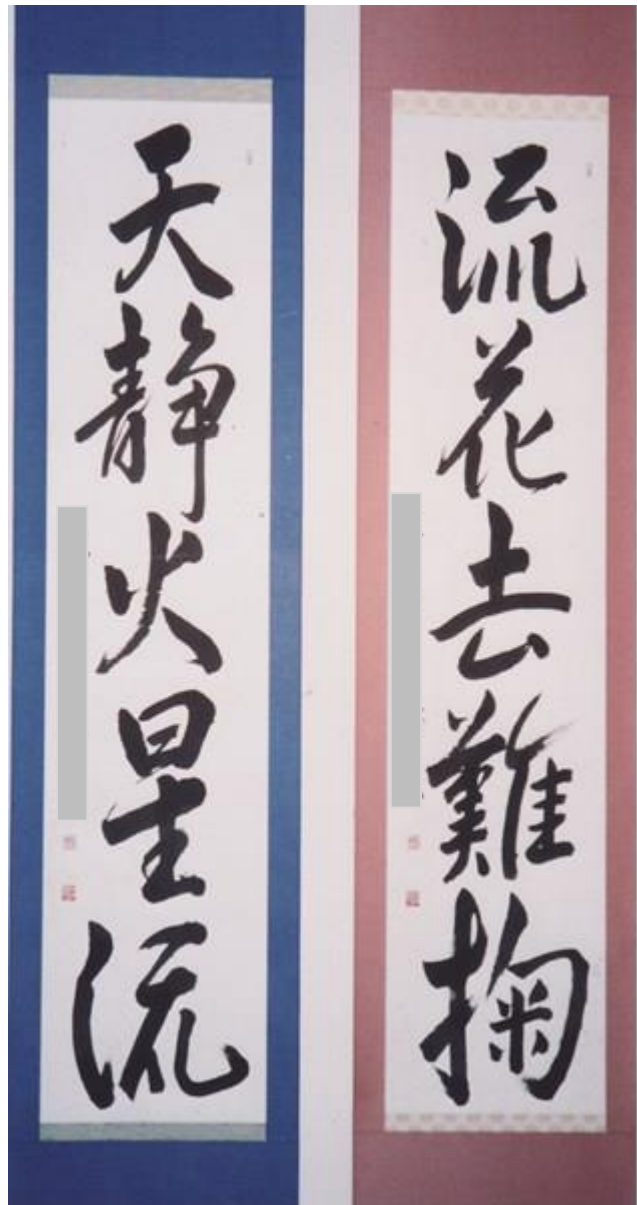
言語聴覚士 横張琴子 編著

症例3 発症49歳、右利き、男性、脳梗塞、右片麻痺、重度失語症

2年間の入院リハビリの後、「言葉は出ず、文字も計算も判らないまま退院となり、家に閉じこもって激しい自傷行為の絶えない主人を抱いて二人で泣いた日がどれだけあったか…(奥様の手記)」。その後、奥様が運転免許を取り、発病から3年を経て松戸のグループ訓練に参加され始めた。「松戸に伺ったその日から主人の生活は一変。「イソガシイ」が口癖となり、毎日散歩、勉強、書道に打ち込み、お仲間と会食や旅行を楽しみ…私達は新しい希望に向かって力一杯歩き始めています(奥様の手記)」。



上：書道を始めて1年後の作品
(発病後約5年)



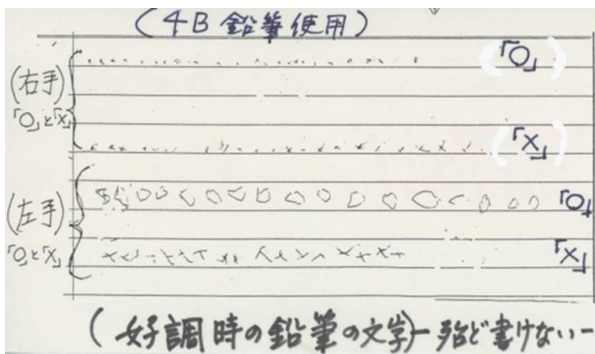
右：練習開始後約10年
作品展出品作
(発病約13年)

症例4

発病55歳、右利き、女性、クモ膜下出血→多発性脳卒中、両側不全麻痺、
発声・構音障害、嚥下障害

7回の脳内出血や脳梗塞の再発に、パーキンソン症候群も加わり、移動は車椅子、左右両手とも文字は弱小化が著明、発話は構音の歪みやリズム・発声の障害が重く、文字・発話とも伝達が非常に困難な状態だった。

数年後来院され、はじめて神経難病(構音障害)グループに参加。発話と合わせ左右手の書字訓練を施行したが、いずれも弱小化やリズムの乱れなど、ご家族とST以外への実用的伝達は非常に困難なレベルだった。しかし、墨筆での大きな書を試みたところ次第に大きく力強い作品が生まれ、ご本人・ご家族の大きな喜び、自信をもたらし、車椅子で観劇、日本一周の船旅を楽しむなど生活は大きく広がっていった。



上:両手とも弱小化と乱れが強く、読み取りにくい

右:墨筆練習を繰り返し出来上がった作品

(上・右とも同時期のもの)
(最初の発症から約10年、訓練担当後5年、
両手とも箸は持てない)



<作品展に寄せられたご感想から>

—毎回沢山のご感想を頂き、大きな励みにさせて頂いています—

「もうだめだと言われた人達のこんなにも見事な復活。人間の持つ可能性の素晴らしさに涙が止まらない。希望と勇気をありがとう」

「拙い「〇×」の模写と玄人はだしの近作、見比べた時、強い感動に包まれる。誰もが仮に年を取っていても未来への可能性を秘めているのだと」(朝日新聞・天声人語)

「先生と皆様が同志である！と強く感じました。自分もそうありたい、頑張ろうと気持ち引き締められました」(ST)

「生きる事の意味を知らされたように思いました。すごい！すご過ぎます。感動で言葉が出ません」「人間 バンザイ！」

6. おわりに

「届かないと思えば絶対に届きません。届くと思えば届くのです」

(車椅子バスケットの得点王)

最も支援を必要とされている方々は、最も訓練効果の得にくい重い障害の方々ではないでしょうか。でもどんなに障害が重くても、喜びとともにその方に適した支援が続けられれば、人間の脳は限りない回復の可能性を秘めているのです。どんなに慢性期、超慢性期でも、どんなに障害が重くても、適切な支援が得られればまた輝き始める生命の灯の素晴らしさと、長期に亙る支援の有用性を、この作品展や症例を通して少しでもお伝え出来たら・・・と強く願っております。そして、小さな生命の灯が一つ一つともる度に、またその灯が輝きを増して行く度に、そこに携わっている支援者の心にも大きな大きな喜びの灯がとまり、輝いていくことも

CD版 そのまま使える失語症教材1



監修：鈴木 勉 宇野園子
CD-ROM (PDF A4判 1116頁) **6,600円**

およそ30名のSTが力を合わせて、4種類の教材を収めたCD-ROMを制作しました。内容は、絵の完成(書く準備)・情景画・4コマ画・文章読解です。お手持ちのパソコン・プリンターを使って、何度でも繰り返し印刷してお使いいただけます。
※本教材を使うには、Adobe Acrobat Reader等が必要です。



絵の完成(トレース課題 30頁・絵の完成課題 200頁・検索&印刷用アプリ) 情景画(基本画 10頁・番号付情景画 10頁・単語リスト 10頁) 4コマ画(系列画 25頁・漫画 25頁) 文章読解(問題 650頁・解答例 130頁)

待望の第2弾!『CD版 そのまま使える失語症教材2』予約販売開始!

詳細はホームページをご覧ください。



構文教材 基本文編

著：藤田郁代 絵カード(B7サイズ)208枚 / 保管用ケース付
音声ペン対応 **7,700円**

失語症の方のための 言語訓練帳

著：山本弘子 編：NPO法人日本失語症協議会 A4判 32頁 **880円**

沼尾ひろ子

脳梗塞により失語症となるが放送業界に復帰!
自身の経験をもとに執筆した書籍をご紹介します



失語症になった私から医療の現場で働くみなさんへ38のメッセージ

A5判 198頁 **2,200円**
失語症患者との具体的なコミュニケーション方法を紹介しています。



音でわかってすぐに使える 失語症ことばの手帳

手帳+音声ペン **12,320円** 手帳のみ **3,080円**
音声ペン対応 ◆手帳：A5判(バインダー綴じ)86頁
いつでもどこでもトレーニングでき、いざというときには音声ペンがあなたの代わりに言葉を伝えます。



よくわかる失語症ことばの攻略本

音読編 音声ペン対応 B5判 92頁 **1,430円**
ことば体操編 オールカラーイラスト B5判 98頁 **1,650円**

言語訓練用絵カード ActCard[®] (アクトカード)

全巻音声ペン対応になりました!
失語症者への言語訓練を目的とした絵カードです。
1~5巻 75mm×125mmサイズ 各300枚 各**19,800円**



音声ペン アクトボイスペン (ActVoicePen) 自作用シール100枚 / ACアダプター付 **9,900円**
言語訓練や意思表現のサポートなどにお使いいただけます。
デモ機貸出サービス実施中です。詳細はホームページをご覧ください。



<https://escor.co.jp>
〒292-0825 千葉県木更津市畑沢 2-36-3

TEL 0438-30-3090 FAX 0438-30-3091
●掲載内容は予告なく変更になることがあります。 ●表示価格は10%税込です。

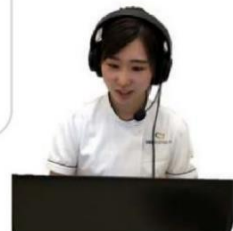
言葉がでにくい

ろれつが回らない

集中力がない・続かない など

言語聴覚士(ST)による言語リハビリをご自宅で

失語症・構音障害などの言葉の障害、
注意障害・記憶障害などの高次脳機能障害に対応しています。
ご家族も一緒に、日常生活でのサポート・トレーニング方法を学べます。
パソコン・タブレットがあればOKです!



通常 8,000円/1コマ60分
(税込価格8,800円)

体験60分無料

ご予約・
ご相談は
こちら

▼お電話

0120-251-108

受付時間/月~土 9:00~18:00

▼LINEで簡単相談



- ▶LINEアプリを起動
- ▶ホーム
→友達追加
→QRコード読み取り
- ▶追加を押して完了
- ▶「LINEで問い合わせ」



実際のリハビリの様子やサービス詳細はホームページでご覧いただけます



連載・言語聴覚士の四方山話②



今年9月30日、山梨県甲府市で、日本失語症協議会設立40周年記念大会となる、失語症全国大会インやまなしが開かれました。主催は一般社団法人山梨県言語聴覚士会、共済がNPO法人失語症ダイ振興会、NPO法人ゆずりはコミュニケーションズが加わりました。協議会としては第34回を数える今回は、コロナ禍を乗り越えて、全国の仲間と久しぶりに集まれる…という、感慨深い機会となりました。午前シンポジウム。午後は大田先生講演他、ユニークな企画満載、報告が楽しみです。

日本失語症協議会は、以前は全国失語症友の会連合会と呼ばれていました。その先駆けである「東京失語症友の会」が40年前に、第一回東京大会を開催しました。これが全国組織を作るきっかけになりました。その頃、全国には12ものグループ(秋田氏、東京中野区、東京北区、東京原宿、金沢市、高岡市、福井市、松山市、高知市、北九州市、那覇市)がそれぞれで集まりを持っていたそうです。今に続いていますね。

名称こそ変わりましたが、変わらないのは、失語症のある人と家族にとって、仲間との「共感の涙・笑い」が一番、ということだと思います。言葉は一人だけでは良くならない、仲間と一緒に良くなるんだ、という気持ちのつながりが、明日への元気をもたらしてくれます。故遠藤尚志STと故山本弘子STがいつも話していました。今回のやまなし大会でも、大田仁史先生が『めだかの学校』の話を読みました。♪誰が生徒か先生か…リハビリ担当のSTだけが先生なのではなく、同じ境遇の仲間も先生です。仲間に会いに(意思疎通支援者もいるかも!)出かけましょう。(む)

脳トレ・ミニ(アンコール)

涼しくなってきました。風邪をひかないように体調管理には気を付けてください。秋を感じる物の名前を並べてみました。今回は下の漢字単語を参考にして、黒い部分にあてはまる一つの音、○や、○ゆ、○よ、のどれが入るか考えてみましょう。
 《注…小さい文字を伴う「拗音」は言語訓練で一音と数えます。》

(例) かぼ [] (ちや) 南瓜

① い [] 銀杏

② きくにん [] う 菊人形

③ どく [] 読書

④ こう [] 紅茶

⑤ かんこう [] こう 観光旅行

⑥ おでんの こん [] く 蒟蒻

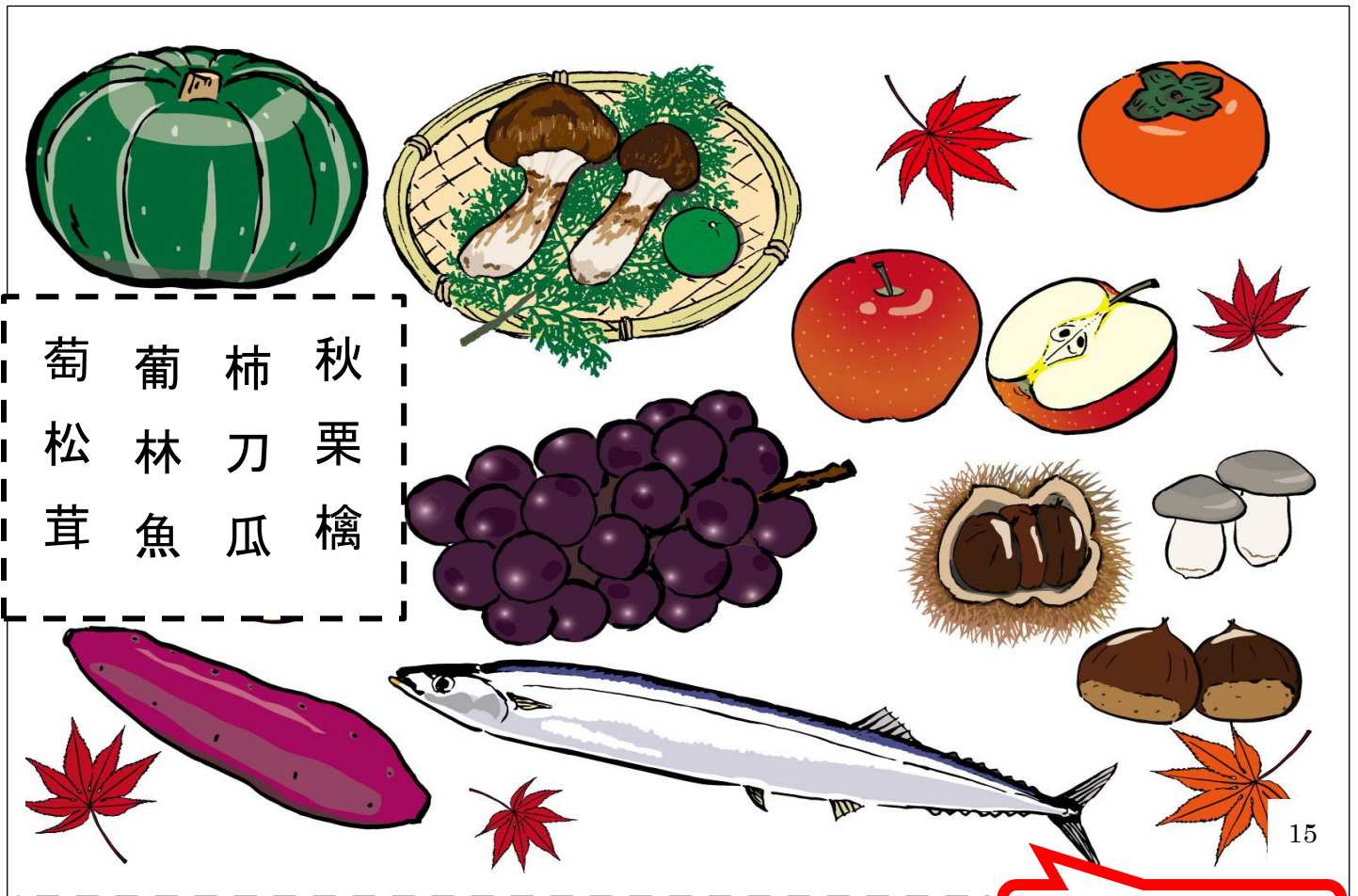


ぎよ、しよ、ちや、
ちよ、にや、りよ

脳トレ・2023秋

次の6つの文が示している「秋の味覚」が8つあります。その名前を考えて、下の絵から合うものを探しましょう。ヒントも参考に、漢字で書くと□の数になるよう組みあわせてください。

- ① (例) 土の中から 掘り出して 収穫する。 薩 摩 芋
- ② 今年ことしは 不作ふさく? 高値たかねだけど、風味ふうみは最高さいこう! □□
- ③ 今年ことしは 痩せている? 醤油しょうゆと 大根だいこんおろし、スダチすちも少し。 □□□
- ④ イガいごの中から 硬いかた 実みを 取り出す。 □
- ⑤ 渋いしぶものに あたると 残念ざんねん。 □
- ⑥ 煮物にものにも、サラダさしやにも。最近さいきんは 黄色いきいろお化けばにも?! 南□
- ⑦ 緑色みどりいろのもの、小粒こつぶのもの、種無したねなしのもの、種類しゅるいがたくさん。 □□
- ⑧ やっぱり 青森あおもりの名産めいさん。「フジ」「トキ」 □□



ヒント：仮名で書くと～ ①さつまいも

② まつたけ ③さんま ④くり ⑤かき ⑥かぼちゃ ⑦ぶどう ⑧りんご

何が一番好き?

友の会だより

全国 88 の友の会が協議会に加盟しています。
各地の友の会の活動をお伝えいたします。

*北海道失語症友の会「北の会」

- 4月例会：定山溪病院・・カントリーサインあてゲーム
勤医協札幌病院・・椅子に座って風船リレー
- 5月例会：札幌北脳神経外科病院・・状況判断ゲーム
札幌宮の沢脳神経外科病院・・歌詞の穴埋めゲーム
- 6月例会：札幌リハビリテーション大学校・・文字並
べクイズ イムス札幌内科リハビリテーション病
院・・風船質問ゲーム
音楽レクリエーション

*青森失語症友の会「ちょちゃべの会」

- 6月例会：10周年記念食事会
アップルパレスにて
- 7月例会：参加者 11名
一か月の出来事報告、「質問ゲーム」
- 9月例会：参加者 7名
近況報告、10月バーベキュー大会について話、
トランプ

*石川県失語症友の会

- 4月15日：48回通常総会出席 11名
会長挨拶、祝辞、審議
- 9月2～3日：合同研修会 参加者 13名



石川県失語症友の会 合同研修会 令和5年9月2日(土)～3日(日)

【金沢支部】

- 5月20日例会：16名
自己紹介、近況報告、○×クイズ、ジェスチャーゲーム、紙飛行機、歌「希望の朝」
- 6月23日例会：地区別研修会 参加者 13名
白山市瀬女方面



- 7月15日例会：参加者 12名
近況報告。災害持ち出し品について、県名ビンゴクイズ、風船バレー

【加賀支部】

- 5月20日例会：参加者 8名
近況報告、棒ボウリング、大小クイズ、歌「希望の朝」
- 6月17日例会：地区研修会 参加者 9名
安宅ビューテラス



- 7月15日例会：参加者 8名
近況報告、間違い探し、迷路、ゴミ箱へポイ！、
歌「希望の朝」

【能登支部】

- 5月20日例会：参加者 8名
自己紹介、近況報告、防災バッグに何を入れようか、昔話を完成させよう

6月17日：地区研修会 参加者9名



「氷見あいやまガーデン」

7月15日例会：参加者3名

ご当地クイズ、魚漢字パズルのマッチング、語想起

【珠洲支部】

6月17日例会：参加者5名

自己紹介、クイズ、書道、体操

レクレーション「文字想起ゲーム」



レクリエーション
① オノマトペジェスチャー
ヘリコプター・豚・壁
機・ライト
② あるないクイズ

オノマトペジェスチャーは、「猫・掃除機・ヘリコプター」といわれたら、『にゃー・ガーガー・バラバラ』とその音のしいながら、ジェスチャーをするという脳トレでした。結構みんな上手にやっていた。あるないクイズは、
◎学校になるものもないもの
◎スーパーにあるものもないもの
◎病院にあるものもないものを、単語を聞いて判断する耳の理解力の問題でした。給食に大福が出た学校や、スーパーにキャビアが売っているかどうか、面白い話がいっぱい出てきました。

今月の歌(北水会) *どんぐりころこ *とんぼのめがね

***福井県失語症友の会**

第44回定期総会開催(書面表決)

5月27日例会：参加者9名

口の体操、事務連絡、近況報告

7月22日例会：

事務連絡、近況報告

***茨城県失語症友の会「葵の会」**

4月16日例会：参加者25名

みんなの近況、レクリエーション桜を満開にしよう

5月28日例会：参加者15名

海老沢会長の挨拶、みんなの近況、レクレーション、今月の歌

6月25日例会：参加者22名

海老沢会長の挨拶、みんなの近況と今年の抱負、レクレーション「ビンゴゲーム」

7月16日例会：参加者19名

海老沢会長挨拶、みんなの近況、レクレーション「文字想起ゲーム」

8月27日例会：参加者22名

言語の日イベント参加者の声、みんなの近況、レクレーション「オノマトペジェスチャー」「あるないクイズ」今月の歌

9月17日例会：参加者17名

海老沢会長挨拶、みんなの近況、

***埼玉県・春日部失語症友の会**

4月8日第388回定例会：バス旅行

5月13日第389回定例会：2023年度定期総会
参加者22名

6月10日第390回定例会：

7月8日第391回定例会：挨拶、お口の体操、近況報告、ゲーム「都道府県キャッチフレーズ当て」

4月20日第28回春トーク

5月22日第29回春トーク「近況報告」フライングディスク、歌詞穴埋めゲーム

7月20日第31回春トーク参加者10名

挨拶、「夏祭りの思い出」、ゲームピクトグラム
発声練習

8月21日第32回春トーク参加者15名

挨拶、あいさつ、口の体操・あえいおう 月水木
金土日、トークテーマ「私の夏、夏といえば」
ゲーム「彩の国 埼玉が一番！」

9月3日 太平山ぶどう狩りバス旅行



(春日部市身体障害者福祉会)

***埼玉県・デイサービス「はばたき」**



***千葉県・市川失語症友の会「げんき会」**

4月17日「げんき会創立27周年のつどい」



***埼玉県・大宮失語症友の会**

- 2月25日例会：近況報告、絵で表現「愛着・思い出のあるもの」
- 3月3日親睦会：近況報告、レクリエーション「ボーリング」歌
- 3月18日例会：近況報告、絵で表現「春あれこれ」
- 4月1日お花見会



- 5月20日例会：近況報告、絵で表現「コロナ禍あれこれ」
- 6月3日親睦会：近況報告、レクリエーション「ポッチャ」
- 6月17日例会：近況報告、絵で表現「今年上半期の出来事」
- 7月1日親睦会：近況報告、レクリエーション「ポッチャ」

***千葉県・千葉県東葛失語症友の会**

10月29日友の会(4年ぶりに再開!!!)

東葛失語症友の会のお知らせ

猛暑の日々、皆様いかがお過ごしでしょうか。涼しい秋風を心待ちにしながら、コロナで4年間開けなかった友の会の久々の再開お知らせをお届けします。久しぶりのお仲間達との再会、おしゃべり、歌、ゲーム、そしてコンサートなど、楽しい集いにぜひどうぞ！お会いするのを楽しみにしています。

日時：**令和5年10月29日(日)10時**(受付 9:30より)
 場所：**松戸市森のホール21-4階**(TEL 047-384-5050)
 会費：**1500円**(弁当・会場費他)一日受付でー
 申込先：**若葉の会(047-385-4531・日暮、047-391-7272(Tel/Fax)・横張)**
国府台病院(047-372-3501代)・言語療法室・四方田
 締切：**10月8日(金) 弁当予約、座席予約のため締切厳守でよろしく**
 ◎**時節から、飲み物は各自でご持参ください。**

【プログラム】

- 10:00 開会・オープニング(歌・リズム体操)
- 10:10 八島会長退任式→新スタッフ紹介
- 10:25 グループ毎の交流・話し合い
- 11:25 新しいお仲間、スタッフ紹介
リフレッシュタイム(歌・リズム体操)
- 11:40 民謡のひととき(渡瀬正、松田奈緒)
- 12:00 昼食会→休憩
- 13:00 リハビリ体操
- 13:10 **コンサート**♪市川児童合唱団♪
- 14:10 休憩(ゲーム準備)
- 14:20 グループ対抗リハビリゲーム
- 14:50 エンディング・閉会

感謝状
八島会長様へ
長い間の御活躍、本当にありがとうございました。
市川児童合唱団
代表者 市川 幸子

***東京都**

大田区失語症支援の会「ひまわり会」

5月13日例会：18名参加

最近のニュースから、一言スピーチ「海外からの観光客に東京案内をしたら」、ゲーム「ニュースパズル」、グループ会話「日常生活について」、体操・発声練習、歌

6月10日例会：20名参加

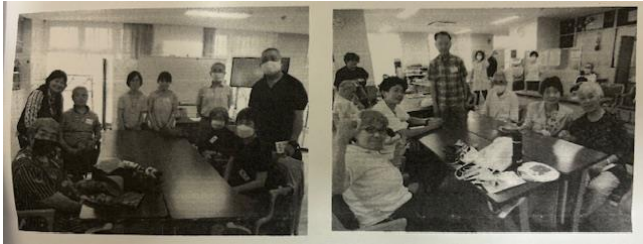
最近のニュースから、一言スピーチ「両親の思い出」、ゲーム「金平糖は甘い」、お口の体操、歌

7月8日例会：24名参加

最近のニュースから、一言スピーチ「こんな物を持ってきました」、ゲーム「暑中見舞状書き・お中元を贈ろう」歌

9月9日例会：22名参加

最近のニュースから、一言スピーチ「近況報告」、ゲーム「絵カードビンゴ」グループ会話、歌



***東京都**

・目黒区失語症友の会「椎の木の会」

5月27日定例会：

連絡事項、記事を読みましよう、
テーマ「私の好きな映画・思い出の映画」

***東京都・江東失語症友の会「すずめの会」**

7月11日食事会：参加者 20名



9月30日例会：参加者 14名

近況報告、フリートーク「秋のおいしい食べ物・食べたいもの」

***東京都・品川失語症友の会**

4月22日例会：

体操、総会、今月のテーマ『失語症になって変わった事』、縦・横斜め

5月27日例会：

身体の体操、お口の体操、今月のテーマ『みんなどこに日帰り旅行に行きたいですか?』、ゲーム「どの都市のお菓子?」

6月17日例会：

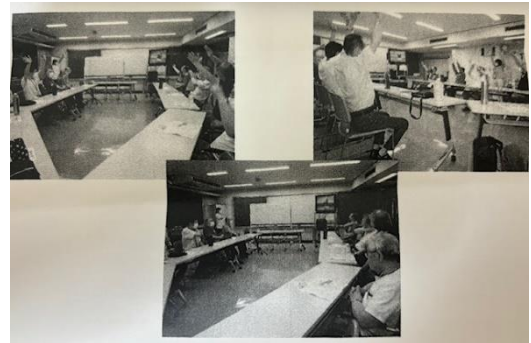
体操、今月のテーマ『夏に向けて準備したいこと』、ゲーム「四角の中に入る数字」

7月22日例会：

体操、今月のテーマ『宝物を1つ教えてください』、暑中見舞いを書きましょう

8月26日例会：

体操、歌、今月のテーマ『夏バテしないおススメの食べ物』、ゲーム「横山さんと椎名さんのこと、どれだけわかりますか?」



***東京都・港区失語症友の会「みなとの会」**

5月15日日帰り研修旅行：参加者 21名

「チームラボプラネッツ見学」

第18日日帰り研修旅行

『チームラボプラネッツ見学』に行ってきました！



◀ 三井ガーデンホテル豊洲プレミアのロビーにて ▶

6月10日例会：参加者 20名

司会の挨拶、歌、総会、ストレッチ体操&口の

運動と音読、スピーチ、お知らせ

7月8日例会：参加者18名

司会の挨拶、歌、スピーチ「好きなおにぎりの具は？好きなみそ汁の具は？」ストレッチ体操 & 口の運動と音読、ゲーム、『絵の中の言葉ビンゴゲーム』、お知らせ

9月9日例会：参加者18名

司会の挨拶、歌、スピーチ「好きなもの、好きなところ」ストレッチ体操&音読、お知らせ

***東京都・新宿失語症友の会**

3月4日学習会：参加者23名

事務局だより、リラックス体操、書道、グループ訓練

3月18日学習会：参加者21名

事務局だより、リラックス体操、書道・筆ペン、脳トレ、グループ訓練、

4月1日定例会：参加者21名

事務局だより、リラックス体操、書道・ペン習字、グループ訓練、写真撮影

4月15日学習会：参加者2名

事務局だより、令和5年総会、リラックス体操、グループ訓練

5月20日学習会：参加25名

事務局だより、リラックス体操、書道、グループ訓練

6月3日定例会：参加者31名

事務局だより、リラックス体操、グループ訓練、歌唱指導、写真撮影

6月17日学習会：参加者25名

事務局だより、リラックス体操、書道、グループ訓練

7月1日学習会：参加者18名

事務局だより、リラックス体操、書道・塗り絵、グループ訓練

7月15日学習会：参加者23名

事務局だより、リラックス体操、お楽しみゲーム、グループ訓練、

8月5日定例会：参加者30名

事務局だより、リラックス体操、グループ訓練、

写真撮影、歌唱指導

8月19日学習会：参加者20名事務局だより、リラックス体操と深呼吸、書道、グループ訓練



***東京都・杉並失語症友の会**

4月8日例会：参加者15名

事務局連絡、近況報告、リハビリ「杉並区の桜の名所クイズ」「動物名と鳴き声脳トレ」「体操」「言葉集め」

5月13日例会：参加者20名

事務局連絡、近況報告、リハビリ「体操」「すごろく」「カーネーション花言葉クイズ」

5月17日春の日帰りバスハイク：横浜新名所と中華街散策

6月10日例会：参加者16名

事務局連絡、近況報告、リハビリ「体操」「何が当てはまりますかクイズ」「15枚の画像を覚えてね」

7月8日例会：参加者19名

事務局連絡、近況報告、リハビリ「数字ゲーム」「七夕様」「ビンゴゲーム」他

8月12日例会：参加者13名

事務局連絡、近況報告、リハビリ「体操」「夏のいろんなことクイズ」「群読」

9月9日例会：参加者19名

事務局連絡、近況報告、リハビリ「9月9日の雑学」「動物鳴き声クイズ」「体操」「漢字」

***東京都・北多摩失語症友の会「若竹」**

5月20日例会：参加者10名

総会

5月27日おしゃべりカフェ参加者9名

6月3日例会：参加者12名

6月4日東京支部例会

6月17日清瀬「なないろ」群読発表

6月24日おしゃべりカフェ参加者15名

4月15日例会：参加者11名

***神奈川県・相模原失語症友の会**

5月2日南の会：参加者16名

開会の歌、お口の体操、自己紹介・近況報告、ゲーム「自己紹介ゲーム」、音楽療法、閉会の歌、連絡事項

5月13日中央の会：参加者12名

開会の歌、今月の歌、自己紹介・近況報告、ゲーム、閉会の歌、連絡事項

5月9日音楽療法：参加者1

6月6日南の会：参加者16名

開会の歌、お口の体操、自己紹介・近況報告、ゲーム「県名を作ろう」、音楽療法、閉会の歌

6月10日中央の会：参加者11名

開会の歌、今月の歌、自己紹介・近況報告、「年代並べ替えゲーム」、閉会の歌

6月13日音楽療法：参加者13名

7月4日南の会：参加者16名

開会の歌、お口の体操、自己紹介・近況報告、七夕短冊作り、音楽療法、閉会の歌、

7月8日中央の会：参加者12名

自己紹介・近況報告、七夕ゲーム、閉会の歌

7月11日音楽療法：参加者15名

8月1日南の会：参加者14名

開会の歌、自己紹介・近況報告、体操・お口の体操、ゲーム「県名を作ろう」、音楽療法、閉会の歌

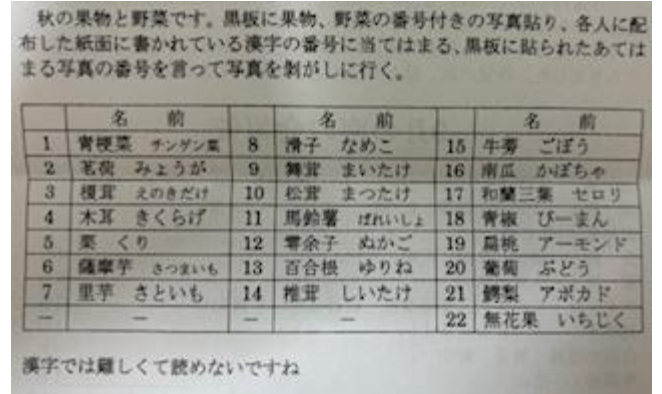
8月12日中央の会：参加者9名

自己紹介・近況報告、「語想起ゲーム」、

8月8日音楽療法：参加者16名

9月5日南の会：参加者13名

開会の歌、体操・お口の体操、自己紹介・近況報告、食欲の秋「食べ物漢字クイズ」、



音楽療法、閉会の歌、

9月9日中央の会：参加者13名

開会の歌、自己紹介・近況報告、世界ランキング並べ替えゲーム、閉会の歌

9月12日音楽療法：参加者15名

***神奈川県・藤沢言語友の会**

5月21日第406回定例会：18名参加

近況報告テーマ『旅行』、言語訓練ゲーム、連絡事項

6月18日第407回定例会：15名参加

近況報告テーマ「花について」、書き取り、言語訓練ゲーム、連絡事項

7月16日第408回定例会：14名参加

近況報告テーマ「愛用の器」、軽体操、書き取り、言語訓練ゲーム、連絡事項

8月20日第409回定例会：16名参加

近況報告テーマ「好きな色」、軽体操、書き取り、言語訓練ゲーム、連絡事項

9月18日第410回定例会：17名参加

近況報告テーマ「お祭りの思い出」、軽体操、書き取り、一口健康メモ、言語訓練ゲーム、連絡事項

***神奈川県・大和言語さくらの会**

5月20日第595回定例会：参加者11名

ラジオ体操、お口の体操、会長挨拶、保坂先生から、これからやりたいこと、

6月17日第596回定例会：参加者12名

ラジオ体操、お口の体操、七夕の短冊書き会長挨拶、保坂先生から、

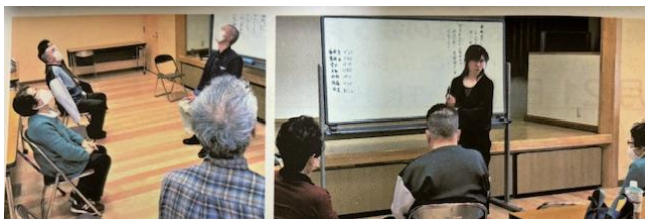
7月1日第597回定例会：参加9名

ラジオ体操、お口の体操、会長挨拶、会員募集について、脳トレプリント

- 8月5日第599回例会：参加者13名
ラジオ体操、お口の体操、会長挨拶、近況報告、しりとり
- 9月2日第600回例会：参加者9名
ラジオ体操、お口の体操、会長挨拶、近況報告、動物の名前を言いましょ、県名地名を言いましょ

***山梨県・東山地区失語症友の会**

- 4月16日例会：定期総会 参加者7名
季節の歌、軽体操・発声練習、総会、フリートークキングタイム、歌『言葉を越えて』



- 5月21日例会：参加者9名
季節の歌「夏は来ぬ」、軽体操・発声練習、フリートークキングタイム、2択クイズ、歌『言葉を越えて』
- 6月18日例会：参加者5名
季節の歌「海」、軽体操・発声練習、近況報告、2択クイズ、歌『言葉を越えて』

***和歌山県失語症友の会「紀乃国会」**

- 4月15日：第32回総会 5月20日：和歌山県立博物館・和歌山県立近代美術館見学
- 5月20日：和歌山県立博物館・和歌山県立近代美術館見学
- 6月17日例会：近況報告、事務連絡、ゴルフゲーム、言葉集めゲーム
- 4年ぶりに開催できました。

***兵庫県・尼崎「いなば会」**

- 3月29日：お花見県立西部庫公園
- 6月10日：「福島さんと尾崎さんを偲ぶ会」
- 7月8日：総会

***京都府失語症の会「ゆるり会」**



島根県・

出雲圏域失語症友の会「あしたの会」

- 7月15日例会：
体操、声出し、歌、箱の中はなあに、短冊しおりづくり、考えて一言



皆様のご厚情に心から感謝申し上げます

2023年6月16日から2023年10月20日まで御寄付を頂戴した方 (順不同・敬称略)
事務所の諸経費に使わせていただきます。

上杉由美 石本マサ子 鈴木朋子 大西直美 渡辺鋼 坂井道子

ゆうちょ寄付者お名前です

(順不同・敬称略) お名前記載のない場合は事務局まで御連絡をお願い致します。

.....

赤嶺愛子	足立博子	阿部裕実	荒川弘	伊崎祥造	石崎さとみ	市川正美
出澤登美子	伊藤聖子	岩島満夫	梅津今日子	海老沢敬	大塚善一	大西知子
大西康史	大前美由紀	岡田充弘	岡田理砂子	表聖司	角田久里子	川口安弘
河島進	神田裕	木村高子	久保島好之	黒木邦俊	児島その	五反地静代
後藤悦子	斎藤敏文	坂田雄治	佐々木正博	佐藤誠一	柴田すが子	志摩進
清水江美子	志村哲	志村孝子	進藤美也子	進藤雄二	須田悦子	園田暎良
園田尚美	高倉正子	竹田和代	田中秀明	田中昌明	田中加代子	田中真寿美
田中喜子	戸村純子	中川智之	中村光	長屋洋子	沼崎知江子	橋本秀久
橋本ゆき	橋本幸枝	濱本王枝	早川晴美	林静子	林百合子	比嘉なな子
平澤哲哉	古山高	星野トヨコ	堀間力夫	北海道失語症友の会		益尾正典
益尾禎子	升谷直美	間々田佳代子	丸井美恵子	宮越くに	目黒周子	森永京子
八島三男	山口礼子	山崎きみ子	山本剛正	山森立夫	横井美代子	横田清
横田聖子	横森美知子	横山眞太郎	綿森淑子	和田修	和田妙子	

(計 88 名)

毎月ワンコイン(500円)寄付は、こちら

「通常貯金(総合)口座」のある方
その口座をそのまま使えます

- ① 申込書に記入・捺印
- ② 申込書を協議会へ送る

(申込書は、ホームページから印刷できます。
又ご連絡いただければお送りいたします。)



その他の寄付は、こちらへ

ゆうちょ銀行(口座番号) 0018-7-174216
三井住友銀行 新宿支店(普通預金) 2883558
特定非営利活動法人日本失語症協議会 宛

寄付のお願い

日本失語症協議会は、会員の会費と寄付により運営されております。

『失語症者向け意思疎通支援者派遣制度』が決まり、各地で支援員の養成事業もスタートしています。しかしながら市区町村で制度化されているところは少なく、より活動を充実させて、失語症の方の生活が豊かになるようにしたいと思っております。高齢化などにより会員数・友の会の減少などの現状が有り、多くの方が月に500円づつの寄付をしていただければこの状況は、大きく変わります。また、単発的に寄付をしていただくこともありがたく思っております。どうかよろしく願いいたします。

目次

1-12p 特集

作品展「生命の灯ふたたび」38年の歩み

13p 【広告】(株) エスコアール

【広告】脳梗塞リハビリセンター

14p 言語聴覚士の四方山話・脳トレミニ

15p 脳トレ

16-22p 友の会だより

23p 寄付者名簿

24p 目次・編集後記

【広告】(株) シマダ製作所

【編集後記】

◆友の会だよりでは、各地でバスハイクや小旅行の写真を送っていただき、再開できる喜びを感じている声が多く聞かれうれしい限りです。

◆特集の記事を見ると失語症になっても輝きながら生きている力強さに圧倒される思いです。

◆異常気象が続いています。皆様、お体に気を付けながら人とのつながりを大切にしてお暮しく下さいませ。 【進】

大盛況!!!!

9月30日失語症全国大会 in やまなし

山梨県立図書館とZoom開催で全国の仲間がコロナ禍を経て、つながりました。

山梨の実行委員会の皆さま、ありがとうございました
詳細は、次号で報告いたします。

〈日本失語症協会設立
40周年記念くす玉割り〉



訃報

長年、理事を務めてくださり、北海道「オホーツク失語症さわやか友の会」を立ち上げ会長として活躍されていた斎藤敏文さんがご逝去なさいました。協議会への多大なるご貢献に心からの感謝と、哀悼の意をお捧げいたします。 合掌

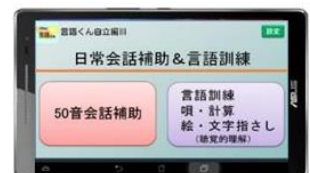
携帯用会話補助装置&言語訓練器 「言語くん」

ご利用者の70%が「よくなっている」と感じています



ST訓練を終了した在宅の失語症者が使える言語訓練器

- ◆(株)エスコアールの絵カード2001より、単語・短文を搭載。
- ◆軽度の患者様までお使い頂ける会話補助装置&言語訓練器!!
- ◆機能:50音会話補助・理解訓練・発話訓練・唄機能・計算機能
- ◆画面も10インチと大きくなりました!



身体障害者手帳または音声言語の認定をお持ちの方は、
定価 115,500円(自立編Ⅲ)が、各市町村の給付により
「1~2割程度のご負担」で、ご購入頂けます。

※各市町村や納税額によっても自己負担額が異なりますので、お住まいの障がい福祉課へご確認ください。

《・・・まずは、10日間の無料お試しから・・・》

★理解・発話自主トレキット(基本編)★自立編Ⅲ(応用編)からお選びください。

株式会社 シマダ製作所 〒379-0204 群馬県富岡市妙義町行沢 264-1 ☎ : 0120-73-8133